

〔田んぼの整備 2月22日、3月15日、4月19日〕



今年は新田を作るため、真冬の2月より田んぼの開墾作業を開始した



水路掘りはぬかるみ、体力も消耗する



水路に丸太の橋を架ける



給水管の埋設は全員で作業に取り組む



苗を育てるために育苗箱に種粉を蒔く



育苗箱をハウスに置き苗が育つのを待つ

〔田植え 5月17日〕



水を張った田んぼで全員一列になり手植えで田植えを開始



中腰での作業はなかなか骨が折れる



ラインに沿って田植えを行う



子どもたちも頑張った



飽きてしまった子どもは、泥遊びに熱中



田植えの終わった田んぼに、さわやかな風が渡りすがすがしい

〔田んぼの草取り 6月28日、7月12日、8月2日〕



中腰で、雑草を1本1本、根本から抜いていく作業は、結構きつい



草取り機は、効率は良いが草の根元から抜くことはできず、また稲の前後も取り残す



1回草取りを中止したこともあり、稲と雑草が絡み合った田んぼ



稲の根本にも雑草がびっしり生え、絡み付いていた



稲より高く伸びた雑草もあった



8月には稲の花の観察会を開催

〔稲刈り 9月21日〕



みんなで一斉に稲刈り



刈った稲をワラで束ねる。慣れないとうまくいかない



束ねた稲をはぎに掛ける



稲は、はぎ掛けで天日干しする

〔脱穀 9月28日〕



はぎより稲を降ろし脱穀作業



収穫された米は全部で19俵(30kgで38袋)